

森之宮キャンパス開設記念イベント

博学連携シンポジウム

豊臣時代の

大坂

研究最前線



大坂夏の陣図屏風（大阪城天守閣蔵）

2026年

3月7日

[土]

13:00 ~ 17:20
(受付 12:00~)



大阪公立大学森之宮キャンパス（2025年9月開設）

対象

どなたでも

定員

300名
(事前申込要/
申込多数の場合抽選)

参加費

2,000円

会場

大阪公立大学
森之宮キャンパス
3階講堂



大阪公立大学×大阪市博物館機構
博学連携事業



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

地方独立
行政法人

大阪市博物館機構
Administrative Agency for Osaka City Museums

豊臣時代の大坂 研究最前線

本シンポジウムでは、2026年のNHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」を契機として注目を集める、豊臣大坂城と城下町について最新の学術的研究の成果を紹介します。森之宮に新キャンパスを開設した大阪公立大学と大阪市博物館機構との連携で、今後どのような新しい研究がなされるのか、可能性と課題についても意見を交わします。

会場 大阪公立大学 森之宮キャンパス3階講堂



●Osaka Metro 中央線・長堀鶴見緑地線、JR大阪環状線「森ノ宮」駅 徒歩約13分

●Osaka Metro 長堀鶴見緑地線「京橋」駅 徒歩約20分

●JR大阪環状線・JR東西線・学研都市線、京阪本線「京橋」駅 徒歩約15分

●Osaka Metro 中央線・今里筋線「緑橋」駅 徒歩約15分

●Osaka Metro 今里筋線、JRおおさか東線・学研都市線「鳴野」駅 徒歩約13分



※会場へのアクセスは
本学Webサイトもご参照ください。
※会場へは公共交通機関をご利用
ください。

申込方法

下の(1)(2)いずれかの方法でお申し込みください。

(1)申込フォーム 締切:2026年2月16日(月)

本学Webサイトまたは右記二次元コードからお申し込みください。

大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト ▼

大阪公立大学 公開講座 🔍 検索



(2)往復はがき 締切:2026年2月16日(月)必着

①氏名(フリガナ) ②年齢 ③郵便番号・住所 ④電話番号
⑤このチラシの入手先 をご記入のうえ、返信面には返信先住所・宛名をご記入いただき、下記宛て先へお送りください。

〒558-8585

大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪公立大学 地域連携センター「博学連携シンポジウム」係

注意事項

- ・申込多数の場合は抽選により参加者を決定します。
- ・参加の可否は2026年2月20日(金)までに通知します。届かない場合は必ずお問い合わせください。
- ・申し込みの際の個人情報は、申込後の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。

問い合わせ先

大阪公立大学 地域連携センター

TEL 06-6605-2068

Eメール gr-shak-kouza4c@omu.ac.jp

プログラム

13:00
開会挨拶

重松 孝昌 大阪公立大学副学長/地域連携センター長

13:05
趣旨説明

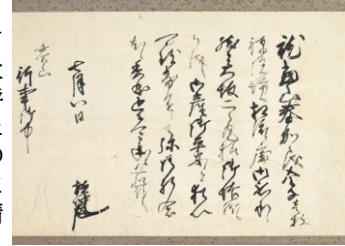
仁木 宏 大阪公立大学大学院文学研究科 教授

13:15
講演 ①

文献史料からさぐる豊臣大坂城

跡部 信 大阪城天守閣 研究主幹

絵図の発見や発掘調査の成果によって多くのことが明らかになってきた豊臣大坂城ですが、一方で「大坂二ノ丸様」と呼ばれた淀殿がどのあたりで暮らしていたのか、史料上の「三ノ丸」がどこをさすのか、といった基本的な問題も未解決のまま残されています。当時の文献史料を精読することで、これらの謎にせまります。



「大坂二之丸様」の安産祈願を書写山円教寺に依頼した書状（大阪城天守閣所蔵）

13:55
講演 ②

出土瓦からみた豊臣大坂城の本丸

岡本 健 大阪歴史博物館 学芸員

発表者は「大阪城豊臣石垣館」の建設にかかる発掘調査によって出土した豊臣期の瓦を調査しました。その作業のなかで、秀吉が本丸を整備したとされる天正11年(1583)ごろよりも新しい年代で供給された瓦の一群に出会いました。今回は瓦を整理することによって見えてきた大坂城本丸の様子をご報告します。



中ノ段内の礎石建物に葺かれたと考えられる軒平瓦 (大阪市教育委員会所蔵)

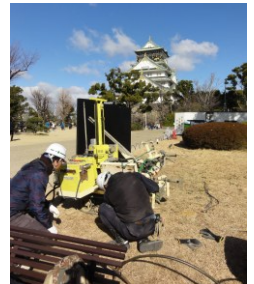
14:35 休憩

14:55
講演 ③

地質調査が明らかにした豊臣大坂城

仁木 宏 大阪公立大学大学院文学研究科 教授

地中に眠る豊臣大坂城を分析するため、私たちが試みたのがSWS調査です。これは、先端にスクリーをつけたロッドを地中に差し込み、各地層の硬さを測定するとともに、石垣の位置や深さを探るボーリング調査です。この調査成果と、中井家に伝わった絵図を比較することで、豊臣大坂城の「本丸」構造の詳細を解明しました。



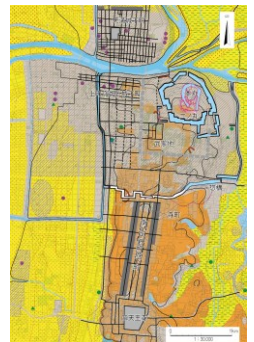
大阪城天守閣前での地質調査

15:35
講演 ④

発掘調査成果からみた平野町城下町

市川 創 奈良国立博物館 主任研究員

羽柴(豊臣)秀吉が建設した大坂城のなかで、初期には四天王寺、そして堺との交通路整備と関わって重要視され、のちには惣構普請によって城の域外となる「平野町城下町」は、非常に興味深い存在です。本報告では、発掘調査により得られた考古学的な知見に基づき、これまでに描かれてきた城下町の姿を検証し、その実態に迫ります。



趙哲済・市川創ほか 2014「上町台地とその周辺低地における地形と古地理変遷の概要」『大阪上町台地の総合的研究』大阪文化財研究所 所収図に加筆

16:15 休憩

16:35
対 談

豊臣大坂研究の可能性

進 行: 大澤 研一 大阪歴史博物館 館長

対談者: 跡部 信、岡本 健、仁木 宏、市川 創

大澤 研一 大阪歴史博物館 館長

17:15
閉会挨拶